

長崎外国語大学・長崎外国語短期大学だより

WWぶどうの樹



発行者 長崎学院
 企画・編集 総務課企画広報係
 〒851-2196
 長崎市横尾3-15-1
 TEL095-840-2000(代)
 FAX095-840-2001
 kikaku@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp



希望新たに
 (新生オリエンテーション
 ~現代英語学科
 平戸一泊研修)

歴史を学びつつ行動を

長崎学院理事長 栗屋 曠



古賀前理事長のあとを受けて4月1日付けで理事長に就任いたしました。私自身本学との係わりは僅かです。学校法人長崎学院長崎外国語大学、長崎外国語短期大学を身近に拝見し、私なりの視点から述べてみたいと思います。

本学はなぜ長崎に在るのでしょうか。1571年(元龜2年)、「長崎開港の年」とされています。今年も開港記念日である4月27日に様々な行事が行われました。鎖国時代唯一西洋との交易が許され、長崎は出島をとおして海外から入ってくる新しい知識や学術、文化の受け皿としての役割を担い、各地から集まってくる人々に日本の近代化へ役立つように教え伝える学校としての機能をもった都市でした。さらに悲しい出来事ですが、1945年8月9日たった一発の原爆は長崎を廃墟にしました。この64年間、長崎の人々は復興を進めながら、同時に全世界に平和の心を発信し続けています。それが長崎です。

次に本学は何のために在るのでしょうか。本学は1945年(昭和20年)復興の意欲と世界的視野に立てる人材の育成を意図し、キリスト教精神に基づき設立されました。建学の精神のキーワードは「真理と自由の探究」「隣人愛」「献身と奉仕」です。そして教育の目標のキーワードは「語学力」「コミュニケーション力」と「人間力」です。目標はさまざまに明白であります。

では誰のために在るのでしょうか。当然ながら留学生を含めた全学生であります。それを支えるのはすべての教職員ですが、陰で同窓会のみなさん、保護者のみなさん、地域住民の方、出入りの業者の方、金融機関、お役所等々沢山の方のご支援・ご援助を戴いていることを忘れてはならないと思います。その恩返しは全学あげての地域貢献が使命であると言っても過言ではないと思います。

以上のことを踏まえ、本学に学ぶ学生一人ひとりの満足度とそれを支える教職員の満足度を今まで以上高める努力を本学の合言葉である「勇気」をもって取り組んでいきたいと思っております。よろしくご助力をお願いします。

**平成21年度文部科学省
「大学教育・学生支援推進事業
「テーマB」学生支援推進プログラム」採択報告**

このたび、平成21年度文部科学省「大学教育・学生支援推進事業【テーマB】学生支援推進プログラム」において、本学が申請した取組「SNSを活用したキャリア形成支援・就職支援体制の整備」が採択されました。

本学では、キャリア形成支援を学士教育の柱として、一人ひとりの学生を対象にした「学生カルテ」を作成し、卒業後の社会進出に照準を定めた学生教育を行っています。この「学生カルテ」とは、個々の学生の入学から卒業までの学業と生活（心のケアを含む）、および就職活動の状況と経過を取りまとめたものです。そうした学生教育の対象としては、日本人学生はもちろんのこと、主として中国、台湾、韓国など東アジアの国と地域から受け入れている留学生も視野に入れています。

今回採択された本学の取組「SNSを活用したキャリア形成支援・就職支援体制の整備」は、SNS（ソーシャル・ネットワークキング・サービス）を活用して、本学における学生教育をより充実させるための取組で、次の4つの目標を実現することを目指しています。

①「学生カルテ」の充実を図り、入学直後からの一貫したキャ

リア形成支援を強化する。

②卒業後のケアも視野に入れた長期的な就職支援体制を整備して、「社会進出後の相談窓口」としての機能を果たす。

③卒業生や企業などの情報ネットワークを確立して、学生に進路・就職などに関する有益な情報を提供する。

④日本人学生だけでなく、外国人留学生の社会進出にも道を開く。

本年度は、キャリア形成支援の強化と就職支援体制の整備に向けた第一歩として、システム構築による環境整備を図ります。

「大学教育・学生支援推進事業」とは：

我が国の高等教育の質保証の強化に資することを目的としたものです。全国の各大学等から申請された、学士力の確保や教育力向上のための取組の中から、達成目標を明確にして効果が見込まれる取組が選定され、広く社会に向けた情報提供と重点的な財政支援が行われます。

（外部資金獲得プロジェクトチーム 松本充豊）

**第11回松本清張研究奨励事業
加島 巧教授「黒地の絵」の英訳」入選**

本学現代英語学科 加島巧教授の「黒地の絵」の英訳」が第11回松本清張研究奨励事業に入選、2009年8月4日（火）、北九州市にある松本清張記念館に於て贈呈式が行われました。

松本清張氏の作品や人物研究、また精神を継承する創造的かつ斬新な活動（調査研究等）に対し研究奨励金が授与されるもので、第11回を迎える今年も国内

外から文学研究、古代史・現代史研究、人物研究など多彩な研究企画案13点が寄せられ、加島教授の研究を含め、全3点が入選しました。

過去の研究においても「英訳」での受賞は、第8回研究奨励の米國・ポモナ大学の准教授と翻訳家による「隠花の飾り」英訳のみで、この度の加島教授の研究成果に大いなる期待が寄せられています。

創立60周年記念誌を発刊しました

学校法人長崎学院は2005年12月に学院創立60周年を迎え、その記念事業として「長崎学院創立60周年記念誌」を発刊いたしました。

原爆の廃墟の中で産声をあげ、戦後の復興から高度成長そしてポスト高度成長の時代を各種学校・短期大学・大学へと発展してきた学校の歩み、在校生・教職員の思い出、写真、年表、統計や各種資料からなるメモリアルな1冊です。

ご希望の方には有償にてお分けいたします。ただし、数に限りがございます（限定



200冊）。

ご希望の方は総務課企画広報係までお尋ね下さい。

装丁・A5版364ページ、箱入上製本

金額…2,000円/1冊

（送料500円/1冊）

【問い合わせ先】

総務課 企画広報係
TEL 095-1840-2000

聖書雑感(七)

小西哲郎

「だれかがあなたの右の頬を打つなら、左の頬をも向けなさい。」（マタイによる福音書5章39節）

愛敵の教えとして有名なイエスの言葉です。この「右の頬を打つ」という箇所には「キリストは左利きなの？」と疑問を持った方がいました。つまりボクシングのように対面する相手から右手でぶたれた場合、左頬をヒットすると考えるのが自然なので、これは左手でぶたれた場合ではないか、というわけですね。

おもしろい、そして聖書のいい読み方だと思いました。この教えの重要な部分とは直接関係ない（ように思える）瑣末な疑問ですが、この言葉が語る情景を具体的に思い浮かべ、それと自分の体験との「対話」がなされているからです。

ちなみにこの箇所は、左パンチではなく右裏手打ち、つまり右手の甲で（バックハンドで）相手の頬をぶつケースが想定されているようです。手の甲で打つのは、手のひらで叩くより相手を蔑んでいるから、と説明されます。（ユダヤ教色の濃いマタイ福音書のいわゆる「右上位主義」が無意識に出ただけではないのかと、左利きの筆者は思うのですが。）

（学院宗教主任）

2008年度

長崎外国語短期大学・長崎外国語短期大学

卒業証書・学位記授与式

2009年3月19日(木)、第5回長崎外国語短期大学・第58回長崎外国語短期大学 卒業証書・学位記授与式をときつカナリーホール(西彼時津町)で挙行し、



長崎外国語短期大学外語学部 127名、長崎外国語短期大学英語学科43名がキャンパスを巣立ちました。

長崎外国語短期大学外語学部 127名、長崎外国語短期大学英語学科43名がキャンパスを巣立ちました。

式終了後、会場をホテルニュー長崎に移動して、校友会の主催による卒業パーティーが開かれました。友人やお世話になった先生と語り合い、記念の写真を撮る姿が見られ、最後に在学生の「博多一本締め」でそれぞれの門出を祝いました。

2009年度 長崎外国語大学入学式

2009年4月3日(金)、本学ホールにて2009年度第9回長崎外国語大学入学式を挙行しました。

新設された現代英語学科に初めての入学生を迎え、現代英語学科74名、国際コミュニケーション学シオン学科90名(3年次編入生含む)、短期留学プログラム47名の合計211名が、日本はもとより、中国、台湾、韓国、アメリカ、フランス、ドイツ、エルサルバドルの8つの国と地域

から、この外語大の地に入学しました。

新入生を代表して現代英語学科の岡山未寿喜さんが新入生の誓いを述べ、実りある学生生活を送る決意を表明し、211名の長崎での新しい生活が始まりました。

新入生を代表して現代英語学科の岡山未寿喜さんが新入生の誓いを述べ、実りある学生生活を送る決意を表明し、211名の長崎での新しい生活が始まりました。



学長特別賞を授与しました

本学では課外活動や社会活動あるいは学業において優秀な成績を修めた学生や課外活動団体を表彰する学生表彰制度があります。優秀な成績を修めた学生を学長賞として、また特に優秀な成績を修めた者を学長特別賞として表彰しています。

2008年度は3名の学生が表彰されました。学長特別賞には2008年度日本スペイン協会



主催高円宮杯全国スペイン語弁論大会において1位の成績を収めた大学4年スペイン語コース堀佳代さんと、2007年度、同大会において2位の成績を収

め、また日本語講座の企画運営においても成果を挙げたスペイン語コースの増留愛香音さん(2009年3月卒業)が選ばれました。

また学長賞では2008年7月に学生による日本語講座の企画運営を行い素晴らしい成果を収めたスペイン語コースの淀川孝雄さん(2009年3月卒業)が表彰されました。日頃の努力に対して敬意を表するとともに今後一層の活躍を期待したいと思います。

(学生支援室 学生係)

2009年度新学期 インターナショナルウィーク

入学式後のオリエンテーションが終了し授業が開始された4月13日(月)から17日(金)までの1週間、学内はインターナショナルウィークの行事で賑わいました。この企画は、新入生に多言語・多文化体験を提供し、初習外国語への関心を高めるも

らおうと授業の第一週目の各曜日を各言語デーとして、今年初めて実施したものです。

インターナショナルウィークの1週間は、インターナショナルランチとしての、日替わりでその日の言語の国にあわせたランチが登場。昼休みの



学食では、学生によるピアノ演奏やフラメンコの舞、フランス語劇、ゆで卵をスプーンに乗せて落とさないように早く走る「卵競争」など、毎日、国別に様々な催物が開催されたほか、教職員がそれぞれの国にあわせた衣装をまとい、学生に「ボ

ンジュール」「ニイハオ」「アンニョンハセヨ」など、その国の言葉で挨拶をする姿も見られました。

身近なところから、各国の言語や文化を学ぶ、まさに「外国語大学」ならではの楽しい1週間となりました。

なお、国別の挨拶や簡単な会話は、本学のホームページにある「言葉のちゃんぽん村」でご覧いただくことができます。



学食では、学生によるピアノ演奏やフラメンコの舞、フランス語劇、ゆで卵をスプーンに乗せて落とさないように早く走る「卵競争」など、毎日、国別に様々な催物が開催されたほか、教職員がそれぞれの国にあわせた衣装をまとい、学生に「ボ

URL <http://www.nagasaki-gaigo.ac.jp/champion/champion.html>

語学コンクール報告

第22回初心者のための九州フランス語コンクール

- 2位 田中慧美(2年)
- 3位 堀永樹美(2年)
- 5位 杉本美那子(2年)

第22回初心者のための九州フランス語コンクールが2009年7月5日(日)、今年も長崎外国語大学で実施されました。1988年に始まったこのコンクールも22回目を迎えます。

フランス語学習歴2年以上の初心者を対象としたこのコンクールは、各人が自分の好きなテーマについて



3〜4分のスピーチをし、6名の審査員からの簡単な質問にフランス語で答えるという形式のものでです。今年のスピーチの内容はそれぞれ個性があり、優劣つけ難いものでしたが、質問に如何に答えるかで少し差ができました。大学の学生は二位、三位、五位になりました。一位は福岡の九州日仏学館で学ぶ主婦の方、四位は別府大学の韓国人の学生でした。二位のフランス大使館賞は、フランス

の好きな町での1ヶ月の語学研修(授業料、滞在費込み)で、入賞した田中さんは早速今年の夏にパリで勉強することになりました。(フランス語コース 阿南婦美代)

第29回長崎県中国語コンクール 上級の部 最優秀賞 和田秋奈(4年)

第29回長崎県中国語コンクールが2009年2月22日(日)に長崎県日中親善協議会主催により開催されました。本コンクールは中国語を通して中国に対する理解と関心を深め、中国語学習の成果披露や日中友好親善に寄与することを目的に毎年開催されており、和田さんは大連外国語大学漢学院に1年間留学した経験をもとに「私

の成果」のタイトルでスピーチを披露、上級の部で最優秀賞を受賞しました。昨年の新留修一さんの最優秀賞に続く本学学生の輝かしい受賞となりました。なお、和田さんは2007年(1年次)も同コンクール初級の部において優秀賞を受賞しており、2度目の受賞となりました。(中国語コース 三枝裕美)

2008年度 サービス接遇実務検定 準1級「優秀賞」受賞

準1級「優秀賞」 短大英語学科 2年 濱田愛美 財団法人実務技能検定協会主催、文部科学省後援の検定であるサービス接遇実務検定試験(通称 サー

ビス接遇検定) 準1級「優秀賞」を短期大学2年生の濱田愛美さんが受賞しました。 サービス接遇検定の準1級は サービス接遇に理解をもち、サービスを行うのに必要な知識、技能をもっていることを評価する、検定の実技部門の試験です。優秀賞は合格者の中でも特に優秀である審査員から推薦されたものが受賞します。社会人も受験する中、優秀賞に選ばれたことは素晴らしいことです。

2008(平成20)年度の優秀賞受賞者(検定は2回実施)は72名。なお、サービス接遇検定準1級受験者は5,233名、うち合格者は3,785名でした。(非常勤講師 江頭万里子)

旅程管理研修報告

本学院の「旅程管理研修」も3年目に入り、総合旅程管理研修で108名、国内旅程管理研修で21名の修了者を数えます。旅行会社に就職した卒業生が修学旅行の添乗で来崎し、修学旅行生と本学の留学生との国際交流イベントを企画するなどという嬉しいニュースも入ってくるようになりました。

資格取得者を中心としたツアープランニング研究会というサークルも学内に発足したらしく、また、これから受講する一年生の中には、



添乗員になれる「旅程管理研修」があるから本学に入学したという学生もおり、大学及び短期大学に貢献できているという実感が得られる研修になってきました。

今年度は、八月から九月にかけて集中講座を2回、十月から十二月にかけて週末連続講座を1回、二月に集中講座を1回と合計4回の研修を予定しています。実務研修旅行は四月にパリで実施し、九月にはハワイでの実施予定があり、二月から三月にかけての春季休暇期間中にも企画する予定です。

本学学生は勿論、他学の学生や一般の方にも受講していただきやすくかつ充実した研修を今後も続けて、日本の政策である観光立国の実現にも役立つ



人材育成という志を持って運営していきたいと思えます。(旅程管理研修機関連事務局)

問い合わせ先

TEL 095-840-2000(代)
E-mail: ryotei@cc.nagasaki-gaigo.ac.jp
(ホームページ)参照ください。

サークルさるく vol.4

長崎外大BBSクラブ

代表 4年 恒吉香菜絵



BBSとは、非行少年の更生をお手伝いするボランティア活動団体です。日本全国に組織があり、各BBSで活動している内容も様々です。

私たちは、毎週日曜日に児童自立支援施設で友だち活動を行っており、子どもたちと勉強をしたり交流をしたりしています。また、今年度は日本BBS連盟会長表彰(団体)を受賞することになりました。

毎週火曜日に大学内でミーティングを行っています。部員は個性豊かで毎週楽しく活動しています!興味のある方はぜひ来てください!

ペタンククラブ

代表 4年 橋詰晃奈



みなさん、ペタンクをご存知ですか?ペタンクとはフランス発祥の球技で、カーリングやボウリングにルールが似ており、体力に自信のない方でも気軽に楽しめるスポーツです。

本来おしゃべりを楽しみながら交流を深める目的もあるので、毎週木曜日に学年やコースを問わず、皆で情報を交換して交流を深めながら、雨の日は室内で、晴れた日はグラウンドで練習をしています。

ペタンクとはどんなものなのか、一度見学に来てみませんか?興味のある方・未経験者の方でも大歓迎です。お待ちしております!!